

ICT支援員だより

平成29年度 第5号

平成29年9月1日 発行



過去の「ICT支援員だより」は次のURLに掲載しています。<http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/kyouiku/y124/s575/>

ICT導入校の実践事例

- 学校名 美土里小学校
- 実施日 平成29年6月27日(火)
- 学年 3年
- 教科 体育
- 単元名 芝生と友達になろう ～体づくり運動～
- 本時の目標



姿勢や方向を変えて、体のバランスをとる動きが安定してできるようにする。

- 本時の学習展開 (主な学習活動)

	主な学習活動	ICT活用	
		T (指導者)	S (児童生徒)
導入	1 体ほぐしの運動と準備運動を行う。 ・ケンケンポーズ ・ケンケンじゃんけん ・バランスケンケンずもう 2 本時の課題をつかむ。 【めあて】動きのこつを見つけて、友達とチャレンジしよう		
展開	3 バランスをとる運動を行う。 ①スタンドアップ (ペア・グループ) ・体育座りで向かい合って ・背中合わせで ・ボールをはさんで 〈動きのこつ〉 ・引き合う ・押し合う ②ダンボールサーフィン ・座って ・立って ・片足 ・横向き 〈動きのこつ〉 ・ひざを曲げる ・手を広げる	・グループで試したり、話し合ったりする様子を見取り、ICT機器で映像を撮影する。 ・その場で映像を見せ、視点を与えることでこつを見つけさせる。(グループ) ・映像をテレビで流す。(全体)	・グループでICT機器を囲み、自分たちの動きを客観的に見る。 ・テレビで映像を見て、友達の動きからこつを見つける。
終末	4 本時の振り返りを行い、用具の片付けを行う。		

○活用の様子



指導者が撮影した映像をテレビで流します。子供達は、他のグループの動きからヒントを見付けていました。



他のグループから学んだ動きのこつを試す時間を設けました。

今年度1学期のICT活用モデル校・ICT導入校の実践事例を、共有パソコンの「共有」の中にある「ICT活用実践事例」のフォルダに入れています。昨年度の実践事例と合わせて見ることができます。ぜひご活用ください。



ICT活用にかかわって～小学校学習指導要領（平成29年3月31日公示）から～

第1章 総則

第2 教育課程の編成

2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- (1) 各学校においては、児童の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

第3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- (3) 第2の2の(1)に示す情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。また、各種の統計資料や新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

合わせて、各教科の特質に応じて、次の学習活動を計画的に実施すること。

ア 児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動

イ 児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習

アに係る内容は、各教科の第3 指導計画の作成と内容の取扱いに示されている。

イに係る内容（いわゆるプログラミング教育）は、算数科、理科、総合的な学習の時間に示されている。



備えあれば憂いなし。新しい学習指導要領の実施に向け、ICT活用においても準備をしっかりとていましょう。活用事例は、この支援員だより等を参考にしてください。

次号は10月に発行し、ICT活用モデル校のICT実践例を紹介したいと思います。よろしくお願ひ致します。

